

# 町政を問う!

## 気になる今後のまちづくり

### どうなる? ぼた山

#### 自然活用型で

**■問** ぼた山の有効活用については、以前からいろいろと検討がなされてきました。

しかし、ここ10年ほどは、「厳しい社会経済情勢の中、自然活用型のぼた山開発の検討を進めつつ、維持管理を行う」と、消極的な事業計画の基に年各1回程度の委員会、代表者会および総会の開催のみで意見交換はなされてきたものの進展はありません。

当町のぼた山開発特別委員会では、「スマートICを念頭においた流通



3町(須恵町・志免町・粕屋町)で所有している「ぼた山」

いでしょうか。  
町長の考えは。

**■答** 中嶋町長

ぼた山に大きなお金を投資して町民の健康が報われるのか、疑問符が付きます。

ぼたを残した形で若干周辺用地を購入し造成工事を行い、核となる企業を誘致できないかと非公式にあたってきました。しかし、こういう経済低迷の中、進出してくる企業は皆無です。

また、中小に小売しても財政を豊かにするまでにはいかないと思います。ただ、スマートインターまでの連結道路が開通すれば、赤坂地区、ぼた山などは非常に利用度が高まり、買い手市場になっていくと思われる。それまでは、昨年決めたように、自然活用型で手を余り加えずに利用しながら、待った方がよいと思われる。



合屋 伸好 議員

施設や公園化等が望ましいが、相当な時間と予算を要することから、当面は登山道や遊歩道の整備を提案する」と、しています。

### 第5次総合計画 策定は

#### 各会議を立ち上げ策定

**■問**

町の人口がやっと2万6000人となりました。第4次総合計画では、2万9000人と想定されていきました。

基準年次の平成12年の国勢調査で、2万5086人でしたので、10年で約1000人増えたことになりましたが、想定からは3000人及ばなかったこととなります。

出生率・経済成長率が低迷しているなかで、第5次総合計画・国土利用計画がどのように策定されているのか、都市計画マスタープランとの整合

性はどのようになっていきますか。

**■答** 吉松まちづくり課長

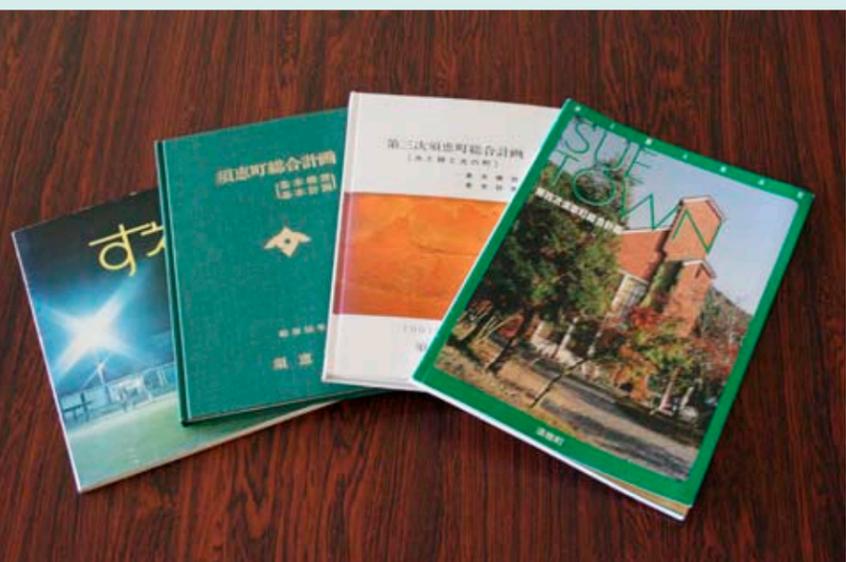
第五次総合計画は、平成23年度からの10年間を見据えて、策定業務を昨年度スタートしています。

平成21年度は、住民・学生アンケートを実施し行政内部においても、これまでの検証と今後の計画等について三役及び各課のヒヤリングを実施しています。

本年度は、総合計画審議会、行政管理職で組織する策定委員会、課長補



御手洗 寿乃 議員



10年置きに策定される「須恵町総合計画」

佐・係長クラスで組織するワーキング会議を立ち上げ、将来計画を策定する方針です。

また現在、住民と若手職員40名で構成するワークショップを開催しています。

第二次国土利用計画に

つきましては、総合計画との関係から本年度業務策定をスタートさせていきます。

近日中に、国土利用計画審議会を立ち上げ、町の有効な利用計画を策定していただく予定です。